



# 1950 年代の 写真

アメリカ、  
ヨーロッパ、  
アジアの街

清川泰次 パリにて(セーヌ河とノートルダム大聖堂) 1954年

2024年4月2日|火|～9月1日|日|

開館時間: 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)、7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館

4月30日(火)、5月7日(火)、7月16日(火)、8月13日(火)は休館

観覧料: 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

\*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

\* ( )内は20名以上の団体料金

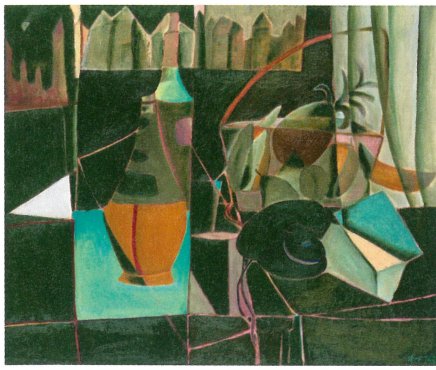
\*世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

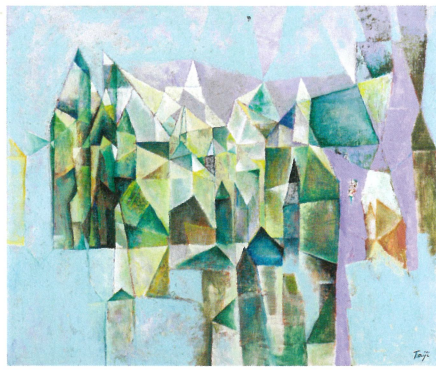
清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL.03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



《静物 イン シカゴ》1952年



《マンダレー》1956年

対象のかたちを写し取ることに捉われない独自の抽象表現を追求した画家・清川泰次(1919-2000)。日本で画家として活動しはじめた清川は、1951年、「本当の絵画とは何か?」を探求すべくアメリカへ渡ります。約3年間シカゴに滞在し、当時ニューヨークを中心に盛んであった抽象表現主義をはじめ、新たな美術潮流に触れました。その後、1954年の3月から5月にかけて、ヨーロッパやアジアの各国を旅してまわり帰国します。

訪れた先々で、清川はその街並みを写真に残しました。学生時代、写真部に所属しカメラの性能や撮影技法の勉強に打ち込んだ清川は、海外の街で、建物や広場、水辺、土地の人々などを端正に写しています。これらの撮影には、2つのレンズで立体写真を写す「ステレオ・リアリスト」というカメラや、カラーフィルムが用いられました。海外で撮られたカラー写真は当時の日本では稀少で、子ども向けの学習誌などに清川の写りが使われることもありました。雑誌『アサヒカメラ』1955年2月号では、清川がパリで撮影した、藤田嗣治(1886-1968)のアトリエ内部の写真が表紙となっています。

本展では、1951年から1954年に清川が撮影したカラーフィルムによる海外の写真を、同時期に描いた絵画と併せてご紹介します。鮮やかな色彩で、時代や場所の様子を伝える資料としても貴重な街の記録をご覧ください。



1

2

3

4

5

6

- 1 シカゴにて 1951-54年
- 2 フランクフルトにて 1954年
- 3 アテネにて 1954年
- 4 ランゲーン(現・ヤンゴン)にて 1954年
- 5 カイロにて 1954年
- 6 バンコクにて 1954年

世田谷美術館分館

# 清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>  
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

Instagram  
開設のお知らせ



日々の様子や、ミュージアムグッズなどの情報をお届けしています。



世田谷美術館分館

## 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



撮影:上野剛史

空模様と民家——向井潤吉の民家日和  
4月2日(火)~9月1日(日)

世田谷美術館分館

## 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



© 宮本和義

Colorful——宮本三郎 彩られた世界  
4月2日(火)~9月1日(日)



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL. 03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

[観覧会のご案内]  
TEL. 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

同時開催展

企画展

ミュージアム  
コレクション

美術家たちの沿線物語 小田急線篇

民藝 MINGEI——美は暮らしのなかにある

生涯130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術——三つのまなざし

ミュージアムコレクションⅢ

美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇

ミュージアムコレクションⅠ

アートディレクターの仕事——大貫卓也と花森安治

2月17日(土)~4月7日(日)

4月24日(水)~6月30日(日)

7月13日(土)~9月8日(日)

2023年12月2日(土)~4月7日(日)

7月20日(土)~10月14日(月・祝)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。